

第60回株式会社えふえむ草津 放送番組審議会

令和2年5月15日中止分
紙面協議用次第

次第

1. 近況報告について（「資料1」）

2. 訂正または取消し放送の実施状況

- ・前回報告（令和2年3月12日）以降、本日までの訂正または取消しの放送はなし。

3. 令和元年度 えふえむ草津事業報告（「資料2」）

- ・令和元年度事業報告を「資料2」のとおり行います。

令和 2 年 5 月 11 日

えふえむ草津放送番組審議会 近況報告

令和 2 年 3 月に実施予定の第 59 回えふえむ草津放送番組審議会につきましては、草津市の新型コロナウイルス感染症拡大防止の方針を受け、書面による報告と審議にかえさせていただいたところですが、今回、5 月に開催を予定しておりました第 60 回放送番組審議会につきましても、感染拡大防止期間の延長により、前回と同様、書面による報告と審議とさせていただきますたくよろしくお願いたします。

それでは、前回の報告から以降の大きな取り組み等について、項目別に報告させていただきます。

まず、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策についてですが、全国的な感染拡大に伴い、えふえむ草津では、番組出演者・制作者、スタッフの安全を確保すると共に、非常時におけるコミュニティ FM の社会的責任を果たすため、対策をとっております。主な対策といたしまして、①放送業務に直接携わる方以外の来場とスタジオ前広場での見学の中止、②放送関係者への赤外線サーモグラフィによる体温確認の実施とアルコール消毒、マスクの着用、③スタジオおよび事務所はのアルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムによる消毒、④スタジオへのアクリルパネル板の設置による飛沫感染予防と入場者の制限、ゲストのできる限りの電話やネット通話、ZOOM 中継等による出演、がでございます。

また、5 月 1 日からは、5 月 31 日までの間、「イブニングロケッツ 785」（月～金 17 時～19 時）の放送時間を 1 時間に短縮すると共に、パーソナリティが放送機器の操作も行うワンオペ放送に変更し、感染リスクの低減に努めているところです。

次に、4 月からの番組編成について報告させていただきます。

見直しは、①平日の正午は草津市関連番組を放送する（市役所・事業所等で昼休みに放送を流していただく）、②草津市関連番組の再放送は繰り返し放送する（地域密着型 FM 局としての特色を出す）、③平日 13 時の地元ミュージシャンによる音楽番組については、再放送は当日を基本とする（再放送データ登録を平準化する）、④同一時間帯には同じ系統の番組となるようにする（分かりやすい番組構成とする）、⑤ミュージックバード番組は、厳選した番組にとどめる（地域情報、自主放送番組を優先する）、などですが、これは番組表を見なくても分かってもらえる番組編成を目指したものであります。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各種イベントや活動が自粛されており、新たな収録ができない状況となっておりますが、逆にこの状況だからこそできる放送を、例えば、各小学校の先生から休校中で学校に通えない児童に向けたメッセージを流したり、新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県知事の県民に向けたメッセージを流したり、自宅におられる高齢者の方に向けて「いきいき百歳体操」の音源を調製放送したりしております。

また、放送業務執行体制の強化策として、4 月からは、えふえむ草津のパート職員として藤原政子さんを雇用するとともに、コミュニティ事業団でも、公共公益型の番組に携わっていただく灰谷純子さんを雇用したところです。

そして、今年度は 5 年に 1 度の放送免許の更新時期となっております、関係書類の作

成を行っておりますが、免許更新後には、より市民の皆さんに快適にえふえむ草津を聴取いただけるよう、老朽設備の更新と聴取環境の整備を目的としたアンテナの設置変更協議を近畿総合通信局と行っていきたく考えております。

6月の株主総会を控える中、私どもを取り巻く社会情勢や経営環境には厳しいものがございますが、可能な限りコミュニティFMにかかる支援や助成制度などの情報を入手し、交付獲得を目指し積極的に取り組んでまいるとともに、進化し続けるAI技術を積極的に活用することにより経費を節減するなどして、えふえむ草津が市民生活の安全、安心や地域の活性化にとって貴重な財産・宝物となるよう努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

令和元年度 えふえむ草津事業報告（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日現在）

（株）えふえむ草津では、下記のとおり、コミュニティの活性化や市民活動の情報支援、行政情報や防災・安全情報の発信など、ローカルメディアの役割を担うべく放送事業を展開してまいりました。

記

① 地域情報発信の充実

平日の朝夕の生放送に「いきいき草津」のコーナー等を設け、草津市関連情報を発信するとともに、えふえむ草津内での情報共有のためのスタッフ専用サイトを設置し、地域情報の収集とデータベース化を図りました。

また、草津市が発行する「広報くさつ」を音声で届ける「声の広報」のラジオ版、CD 版、オンデマンド版を配信するなど、新たな取り組みをスタートさせて地域情報発信の充実を図りました。

<地域情報提供番組>

- ア. 声の広報
- イ. 草津レポート
- ウ. ぐるっとまち歩き～草津道中～
- エ. 意外と知らない草津の歴史
- オ. スマートウェルネス草津～めざせ健幸都市～
- カ. あすくる草津～中谷所長のちょっと e-talk～

② 生涯学習関連情報の充実

学びの地域支援講座をオンデマンドで配信するとともに、“俳句のまち草津”の推進の一助となるよう新番組「俳句 5・7・Go! の時間」を配信するなど、生涯学習関連情報の充実を図りました。

③ 番組聴取者拡充に向けた取り組み

まちづくり情報の提供や地域の行事、市民参加型の放送を行うことによって、地域に根差した市民に愛される番組づくりを行うとともに、都市型難聴に対応するためのサイマル放送やオンデマンド配信等の充実を図りました。

また、下半期より、元気なまち草津の情報を市民に向けてより一層強力に発信すべく、コミュニティ事業団提供によるまちづくり情報提供番組「くさつ☆コミュニ Tea Time!」や「月刊くさつアートセンター」の配信を始めるとともに、公共公益情報提供番組の充実、新たなリスナーの掘り起こしにつながる番組の充実に努めました。

さらに、情報誌「湖南フリモ」への連載記事やホームページ、番組表の刷新等によってメディアミックス（複数のメディアを活用して効果を高める手法）や、クロスメディア（コンテンツを複数メディアで活用する手法）による効果の拡大に努めました。

<まちづくり情報提供番組>

- ア. くさつ☆コミュニ Tea Time
- イ. 月刊くさつアートセンター

<公共公益情報提供番組>

- ア. Tax Radio! やさしい税のおはなし
- イ. 教えて消防士さん～えふえむ草津出張所～（番組コーナー）
- ウ. 血液センターのコーナー（番組コーナー）

※ 3月締結の「警察情報等の放送事業に関する協定書」に基づく新番組「草津署えふえむ交番～電波に乗ってパトロール～」は4月より配信開始。

<新たなリスナーの開拓>

- ア. 伊谷亜子のアニメのうた
- イ. Miwa&Aya のアニ☆パラ

<地域行事等連携、市民参加型の放送特別番組>

- ア. 「みんなでつくろうコミュニティFM」（9月）
- イ. 「市議会議員選挙開票速報」（9月）
- ウ. 「てくてく 夢本陣」（9月）
- エ. 「市民がつくるクリアロビーコンサート」（6月～9月）
- オ. 「くさつバル」（10月）
- カ. 「クサツハロウィン2019」（10月）
- キ. 「街あかり特番」（11月）

<メディアミックス・クロスメディア 他>

- ア. 情報誌「湖南フリモ」との連携
- イ. ホームページの刷新
- ウ. オンデマンド配信の充実
- エ. 番組表の刷新（番組内容の掲載等）

④ 防災ラジオ機能の強化に向けての取り組み

若者目線で制作をした防災番組「Happy DOUSAi」の放送を引き続き行うとともに、「災害時等放送計画」の作成を通して、災害時におけるコミュニティFMの役割を果たすための体制づくりを検証しました。

⑤ その他

えふえむ草津をより幅広い市民の皆さんにストレスなく聴いていただけるよう難聴問題の解決にも取り組んでおり、日本コミュニティ放送協会（JCBA）において先進的な取り組みを行っておられる浜松エフエム放送（株）（FM Haro）の技術指導を受け、近畿総合通信局と協議を進められるようアンテナ等改修設計案の作成業務を行っており、その協議が整った暁には、市にアンテナ改修を要望いたします。

以上、自前の放送スタッフを抱えていない中、番組制作についてはすでに限界に達しており、これ以上、現在の陣容で番組の質を落とすことなく新たな番組を制作することは困難であることから、令和2年度は少し足元を固めたく考えております。